

【目的】従来治療で血糖コントロール不十分な患者に対するイプラグリフロジンの有効性と安全性を検討する。

【対象・方法】名古屋市内 101 施設に受診中の 2 型糖尿病患者にイプラグリフロジン 50mg/日を 24 週間投与し、12、24 週後の HbA1c、空腹時血糖値、空腹時血中インスリン値、HOMA- $\beta$ 、HOMA-R、血清脂質値、体重、血圧、腎機能、高分子量アディポネクチン、高感度 CRP を検討した。

【結果】HbA1c は開始時の  $7.13 \pm 0.82\%$  から 12 週後  $6.64 \pm 0.63\%$  (N=55) へ低下した。空腹時血糖値、HOMA-R、体重、血圧、TG、TC、LDL-C、non-HDL-C、高感度 CRP 値、eGFR 値も開始時と比較し 12 週後に低下した。高分子量アディポネクチンは開始時より増加した。有害事象は 6/119 例 (5.0%) に発現し、重篤な低血糖症はなかった。

【結語】従来治療で効果不十分な 2 型糖尿病患者に対するイプラグリフロジン投与の有効性と安全性が示唆された。